

平成23年度

監 査 報 告 書

山梨市監査委員

# 目 次

## 【定期監査】

1	監査の概要	1
(1)	監査の種類	1
(2)	監査の対象	1
(3)	監査の範囲	1
(4)	監査の期間	1
(5)	監査の方法	1
2	監査の結果	1
(1)	一般会計	2
(2)	国民健康保険特別会計	13
(3)	後期高齢者医療特別会計	15
(4)	交通・火災災害共済事業特別会計	16
(5)	下水道事業特別会計	17
(6)	浄化槽事業特別会計	18
(7)	介護保険特別会計	19
(8)	居宅介護予防支援事業特別会計	20
(9)	簡易水道事業特別会計	21
(10)	活性化事業特別会計	22
(11)	水道事業会計	23
(12)	病院事業会計	25

## 【財政援助団体等に関する監査】

### <財政援助団体>

1	監査の概要	27
(1)	監査の種類	27
(2)	監査の対象	27
(3)	監査の範囲	27
(4)	監査の着眼点	27
(5)	監査対象団体の概要	27
2	監査の結果	28

<出資団体>

1	監査の概要	29
(1)	監査の種類	29
(2)	監査の対象	29
(3)	監査の範囲	29
(4)	監査の着眼点	29
(5)	監査対象団体の概要	29
2	監査の結果	32

<指定管理者>

1	監査の概要	33
(1)	監査の種類	33
(2)	監査の対象	33
(3)	監査の範囲	33
(4)	監査の着眼点	33
(5)	監査対象団体の概要	33
2	監査の結果	35

- ⑨ 1. 本書において文中及び表中に表示する比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入とした。従って、合計と内訳の計、差引き等が一致しない場合がある。
2. 収入率とは、予算現額に対する収入済額の割合。執行率とは、予算現額に対する支出済額の割合のことである。

梨 監 査 第 2 - 1 号  
平成 2 4 年 2 月 2 4 日

山 梨 市 長      竹 越 久 高 様  
山梨市議会議長      大 竹 裕 子 様

山梨市監査委員      上 矢 敏 郎  
山梨市監査委員      小 野 鈴 枝

平成 2 3 年度定期監査及び財政援助団体等監査の結果について（提出）

地方自治法第 1 9 9 条第 1 項、第 4 項及び第 7 項の規定に基づく定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、その結果に関する報告を次のとおり提出します。

## 【定期監査】

### 1 監査の概要

#### (1) 監査の種類

地方自治法第199条第4項に基づく監査

#### (2) 監査の対象

実施日	課名及び施設名など
平成23年11月17日	議会事務局 牧丘支所 観光課 税務課 環境課 三富支所
〃 11月21日	介護保険課 健康増進課 財政課 政策秘書課 会計課
〃 11月22日	管財課 福祉事務所 農林商工課
〃 11月29日	総務課 生涯学習課 都市計画課 市民生活課 晴風園 社会福祉協議会
〃 11月30日	水道課 下水道課 学校教育課 建設課 工事監査(道路工事)
平成24年 1月20日	西保公民館 西保保育園 八幡小学校 岩手小学校
〃 1月24日	諏訪公民館 窪平保育園 山梨北中学校 (株)フィッツ
〃 1月25日	中牧公民館 (財)山梨厚生会 山梨市フルーツパーク(株) (株)グリル・パイナリー
〃 1月26日	三富小学校 (有)ハピネスフレンド 山梨市商工会 (有)みとみ

#### (3) 監査の範囲

平成23年4月1日から平成23年9月30日までに執行された財務事務及び事務事業に関する事項について実施した。

#### (4) 監査の期間

平成23年11月17日から平成24年1月26日

#### (5) 監査の方法

監査を実施するにあたり、通常行なわれている監査手続きに則り、それぞれの事務事業が関係法令などに基づき、適正かつ効率的に執行されているか確認を行なった。例月出納検査での証拠書類の検査に加え、関係諸帳簿との照合、合わせて関係職員からの聞き取りを行なった。

また、事務事業の成果、事務処理手続きが適切に行なわれているかについても監査を実施した。

### 2 監査の結果

各監査対象(各課等)が所管する事務事業について、財務関係事務、事業の執行が適正かつ効率的に行なわれているかを中心に監査を行なった。結果は、関係法令に準拠して執行されており、一部に検討・改善を要する事例も見受けられたが、適正であるものと認められた。

平成23年度は、第一次山梨市総合計画の前期5年間の最終年度となる年である。市の将来像として掲げられた「人・地域・自然が奏でる 和みのまち 山梨市」の実現に向け、計画した事務事業を確実に推進し、市民と行政とが一体となり、より一層の協働のまちづくりを進めていく事を要望する。

なお、軽微な指摘事項に対しては、監査時に口頭で指示したところであるが、後述した「検討・要望事項など」は積極的に対応するよう努められたい。

## (1) 一般会計

### ◆歳入

平成23年9月30日現在の歳入の款別収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入率
1 市税	3,672,815,000	4,104,135,704	2,400,619,623	65.4
2 地方譲与税	150,000,000	42,176,044	42,176,044	28.1
3 利子割交付金	14,700,000	4,431,000	4,431,000	30.1
4 配当割交付金	3,600,000	2,259,000	2,259,000	62.8
5 株式等譲渡所得割交付金	5,800,000	0	0	0.0
6 地方消費税交付金	304,000,000	174,726,000	174,726,000	57.5
7 自動車取得税交付金	41,000,000	6,235,000	6,235,000	15.2
8 地方特例交付金	60,000,000	44,735,000	44,735,000	74.6
9 地方交付税	5,773,000,000	4,242,658,000	4,242,658,000	73.5
10 交通安全対策特別交付金	5,000,000	2,592,000	2,592,000	51.8
11 分担金及び負担金	649,853,000	316,425,586	285,906,942	44.0
12 使用料及び手数料	330,114,000	240,336,020	149,927,364	45.4
13 国庫支出金	2,031,721,000	896,433,080	721,926,722	35.5
14 県支出金	983,955,000	121,009,797	111,876,797	11.4
15 財産収入	26,557,000	14,064,244	14,005,670	52.7
16 寄附金	200,000	10,927,202	10,927,202	5,463.6
17 繰入金	10,834,000	1,501	1,501	0.0
18 繰越金	265,773,000	933,701,415	933,701,415	351.3
19 諸収入	279,789,000	62,636,975	56,202,089	20.1
20 市債	1,658,400,000	0	0	0.0
歳入合計	16,267,111,000	11,219,483,568	9,204,907,369	56.6

第1款市税の税目別の内訳は、市民税730,650,561円、固定資産税1,293,895,441円、都市計画税162,686,949円、軽自動車税97,090,573円、市たばこ税109,496,099円などである。

歳入科目により収入が事業終了後となるものがあるため、収入率が悪い科目も見られるが概ね例年通りの収入率である。

### 監査の結果

歳入に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

市税、市営住宅使用料をはじめ保育料などは大切な自主財源であるので、未収金については、関係各課が常時連携し回収等に積極的に努められたい。また、新たな未収金の発生の防止策についても取り組まれたい。

きちんと納税している市民の立場に立ち、税負担の公平という税の大前提を遵守し、厳しい姿勢で対応するとともに、しっかり徴収して財源を確保できるよう努められたい。

◆基金

平成23年9月30日現在の基金の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

基金名	金額	備考
財政調整基金	1,111,089,041	
市債管理基金	501,179,343	
地域福祉基金	452,564,000	
土地開発基金	224,678,515	
福祉基金	0	
介護従事者処遇改善臨時特例基金	1,706,471	
国保財政調整基金	133,220,724	
交通・火災災害共済見舞金支払準備基金	39,239,403	
介護保険給付費支払準備基金	195,706,819	
公共施設整備基金	0	
中山間地域農村活性化基金	15,510,851	
若者定住促進支援基金	12,304,007	
地域振興基金	950,000,000	
山梨市住民生活に光をそそぐ基金	20,001,501	
合計	3,657,200,675	

◆預託金・貸付金

平成23年9月30日現在の預託金及び貸付金の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

預託金・貸付金名	金額	備考
勤労者福利厚生資金預託金	15,000,000	
農業担い手支援資金貸付金	30,000,000	
商工振興資金預託金	20,000,000	
商工業後継者育成資金預託金	40,000,000	
商工業経営近代化資金預託金	40,000,000	
合計	145,000,000	

## ◆歳出

平成23年9月30日現在の歳出の款別執行状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	支出済額	執行率
1 議会費	214,976,000	114,880,298	53.4
2 総務費	1,541,241,686	644,795,786	41.8
3 民生費	5,125,599,000	1,926,446,701	37.6
4 衛生費	1,441,969,000	406,383,511	28.2
5 労働費	44,814,000	32,469,524	72.5
6 農林水産業費	679,255,000	235,003,692	34.6
7 商工費	330,876,000	192,960,372	58.3
8 土木費	2,159,076,000	217,289,600	10.1
9 消防費	731,630,000	420,431,032	57.5
10 教育費	1,543,648,000	598,239,062	38.8
11 災害復旧費	2,000,000	422,100	21.1
12 公債費	2,433,339,000	1,234,390,766	50.7
13 諸支出金	1,221,000	142,318	11.7
14 予備費	17,466,314	0	0.0
歳出合計	16,267,111,000	6,023,854,762	37.0

### 第1款 議会費

予算現額214,976,000円に対し支出済額は114,880,298円で、執行率は53.4%である。  
支出済額の主なものは、議員報酬、給与、職員手当である。

### 監査の結果

議会事務局における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

特になし。

### 第2款 総務費

予算現額1,541,241,686円に対し支出済額は644,795,786円で、執行率は41.8%である。  
支出済額の主なものは、県議会議員通常選挙経費14,199,653円、市営バス運行経費28,557,835円、庁舎等維持管理経費21,217,509円、東山梨行政事務組合負担金18,703,000円、庁内情報化推進事業経費19,655,355円などである。

### 監査の結果

政策秘書課、総務課、財政課、管財課、税務課、市民生活課、会計課、牧丘支所、三富支所、学校教育課（統計事務関係）における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

## 検討・要望事項など

内閣府の11月の月例報告によると、景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい財政状況にあるなかで緩やかに持ち直しているようだが、引き続き、市行政の無駄遣いを全庁的に取り除いていくことが重要である。その意識付けを全課に対し再度徹底し、自主財源の確保に努められるよう要望する。

この夏の電力不足による停電を回避するために実施した節電において、前年比15%削減の目標を上回る削減率を達成したことに努力が見られた。今後は電力はもちろん、ガソリン、水などの資源の節約にも努められたい。

市税について、収納率の向上を図るため、平成24年5月1日からコンビニ収納を導入予定とのことだが、コンビニエンスストアの店員は金融機関の職員と違い、アルバイト店員が中心なので、導入後は、収納事故等が起きることのないよう徹底し、コンビニ収納の信頼性の確保に努められたい。

協働について、地域の力、市民の力、活動団体・事業所の力を活かしたまちづくりを推進するために、市民、各団体等との協力・連携を図り、また、協働活動の周知・啓発にも努められたい。

## ◆職員

平成23年9月30日現在の課別の職員配置状況は、次のとおりである。（単位：人）

課名	事務吏員	技術吏員	業務員	計	男	女	計
政策秘書課	9		1	10	8	2	10
総務課	13	1	1	15	13	2	15
財政課	9	1		10	10		10
管財課	11	3	1	15	14	1	15
税務課	19			19	16	3	19
市民生活課	12		1	13	7	6	13
福祉事務所	20	3	1	24	14	10	24
(保育所)	33		11	44	1	43	44
晴風園	3	2	6	11	3	8	11
健康増進課	10	10		20	8	12	20
介護保険課	8	7	1	16	4	12	16
環境課	11	1	3	15	13	2	15
観光課	12		3	15	13	2	15
農林商工課	16	3		19	18	1	19
建設課	8	6		14	12	2	14
都市計画課	6	5	3	14	11	3	14
下水道課	2	7		9	8	1	9
会計課	4			4	2	2	4
議会事務局	4			4	3	1	4
水道課	7	9	1	17	16	1	17
学校教育課	5	1		6	4	2	6
(幼稚園)	6		1	7		7	7
(小中学校)	4	2	20	26	3	23	26
生涯学習課	18		1	19	13	6	19
牧丘支所	9	1		10	6	4	10
牧丘教育事務所		1	1	2	2		2
三富支所	6	1		7	5	2	7
三富教育事務所				0			0
合計	265	64	56	385	227	158	385

### 第3款 民生費

予算現額5,125,599,000円に対し支出済額は1,926,446,701円で、執行率は37.6%である。

支出済額の主なものは、生活保護費231,326,846円、私立保育所運営事業経費負担金189,315,660円、障害者自立支援事業費(介護等給付・医療費支給・補装具費支給・地域生活支援事業経費)188,546,428円、子ども手当経費234,811,720円、児童扶養手当経費94,534,059円、重度心身障害児・者医療費助成事業費83,068,188円、子ども医療費助成事業費60,447,941円などである。

#### 監査の結果

市民生活課、福祉事務所、健康増進課、晴風園における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。なお、公立保育園の窪平保育園、西保保育園の監査も行なったが、それぞれ適正に運営されているものと認められた。

#### 検討・要望事項など

国民年金については、年金記録問題等で年金に対して受給者、被保険者等が不信感や不安を抱いているので、引き続き年金制度に対する不信感や不安の払しょく、相談等に努められたい。

子育て支援について、地域に子育てネットワークがあると思うが、すでにネットワークが繋がっているところ以外にも、ネットワークを拓げるために情報を発信し続け、支援が必要な人の把握、情報の共有等に引き続き努められたい。

各保育園においては、未満児保育や延長保育など保護者の環境に合わせた保育の充実が認められた。これからも保育園が地域における子育て支援の拠点として、機能を果たすべく、保育サービスの一層の充実強化に努められたい。

晴風園においては、施設の老朽化により将来的には大規模な改築が必要と思われるが、着実に改築を推進できるよう計画の策定などに努められたい。また、財政難のため改築が厳しいようなら、措置費の負担軽減も図れるので、民営化も視野に入れた検討をされたい。

#### ◆保育園

平成23年10月1日現在の園児数の状況は、次のとおりである。(単位：人、%)

	園名	定員	入園児数	うち広域保育	入園率
公立	後屋敷保育園	75	76	2	101.3
	岩手保育園	60	34	1	56.7
	山梨保育園	90	104	8	115.6
	八日市場保育園	65	67	5	103.1
	八幡保育園	90	80	1	88.9
	窪平保育園	90	70	0	77.8
	西保保育園	30	11	0	36.7
	三富保育園	45	20	0	44.4
	小計	545	462	17	84.8
私立	日下部保育園	90	117	12	130.0
	光明保育園	90	106	9	117.8
	加納岩保育園	90	118	14	131.1
	日川保育園	60	49	5	81.7
	よい子保育園	45	0	0	0.0
	風の子保育園	60	65	28	108.3
	小計	435	455	68	104.6
	合計	980	917	85	93.6

#### 第4款 衛生費

予算現額1,441,969,000円に対し支出済額は406,383,511円で、執行率は28.2%である。

支出済額の主なものは、塵芥処理管理経費62,388,735円、ごみ減量化対策経費28,039,788円、新エネルギー推進経費6,532,378円、し尿処理事業管理経費24,340,264円、母子保健事業経費12,562,444円、予防接種事業費22,983,964円などである。

#### 監査の結果

健康増進課、環境課、水道課（簡易水道関係）における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

#### 検討・要望事項など

平成23年度は、山梨市環境基本計画の見直し年度である。市の目指す環境像に掲げられた「豊かな自然をみんなで未来へ継承する快適環境都市 山梨市」の実現に向け、引き続き、ごみの減量化、資源ごみの収集、新エネルギーの推進等に努められたい。また、将来的には、台所資源（生ごみ）の減量化にも取り組まれたい。

健康増進課においては、市民の健康を預かっているため、今後も疾病予防、健康診査、健康相談等の充実強化に努められたい。また、震災の影響もあり、心の病が増えているとの事なので、心の病に対する理解が深まるよう効果的な普及啓発に取り組まれたい。

#### ◆可燃ごみ物・不燃ごみ

平成23年9月30日現在の可燃ごみ（山梨地域）、金物、ガラスの収集状況は、次のとおりである。

(単位:t)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
可燃ごみ	収集日(日)	26	26	26	26	27	26	157
	収集量(t)	475.18	505.48	502.98	545.56	589.86	529.54	3,148.60
金物	収集日(日)	13	12	12	11	15	14	77
	収集量(t)	12.18	12.09	10.00	9.11	13.70	12.41	69.49
ガラス	収集日(日)	12	11	14	14	12	10	73
	収集量(t)	18.97	22.10	17.82	19.32	16.86	13.97	109.04

(注) 牧丘・三富地域の可燃ごみについては、東山梨環境衛生センターへ搬入されている。

#### ◆し尿処理場

平成23年9月30日現在の生し尿及び浄化槽汚泥の投入状況は、次のとおりである。

	生し尿		浄化槽汚泥		合計	
	台数	量(kl)	台数	量(kl)	台数	量(kl)
平成23年4月	41	61.08	487	824.20	528	885.28
〃 5月	55	87.61	415	698.90	470	786.51
〃 6月	54	86.35	469	788.50	523	874.85
〃 7月	57	92.55	407	678.90	464	771.45
〃 8月	53	79.70	522	888.20	575	967.90
〃 9月	59	86.12	353	586.60	412	672.72
合計	319	493.41	2,653	4,465.30	2,972	4,958.71

(注) バキューム1台の容量は、1.8klである。

◆リサイクルステーション

平成23年9月30日現在のリサイクルステーション（175カ所）の利用状況は、次のとおりである。

品 目	持ち込み量	品 目	持ち込み量
透明ビン (kg)	34,660	新聞紙 (kg)	301,210
茶色ビン (kg)	38,920	雑誌 (kg)	197,260
一升ビン (本)	6,242	牛乳パック (kg)	5,330
ビールビン (本)	2,596	段ボール (kg)	216,960
その他のビン (kg)	15,010	ミックス紙 (kg)	72,310
スチール缶 (kg)	21,820	古着・タオル・シーツ (kg)	7,930
アルミ缶 (kg)	23,290	食品トレイ (kg)	0
ペットボトル (kg)	37,570	その他のプラスチック (kg)	47,010

(注)食品トレイは、その他のプラスチックに含まれている。

◆廃食油

平成23年9月30日現在の廃食油の収集及び精製状況は、次のとおりである。

(単位：リットル)

	廃 食 油	
	収集量	精製量※
平成23年4月	860.50	760.00
〃 5月	1,293.50	730.00
〃 6月	924.50	1,460.00
〃 7月	766.50	1,090.00
〃 8月	764.00	720.00
〃 9月	1,206.50	1,080.00
合 計	5,815.50	5,840.00

※ 精製量には、昨年度収集の未精製分670リットルで精製した量を含む。

## 第5款 労働費

予算現額44,814,000円に対し支出済額は32,469,524円で、執行率は72.5%である。

支出済額の主なものは、働く婦人の家管理運営費4,904,867円、労働福祉費24,140,635円などである。

### 監査の結果

農林商工課における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

特になし。

## 第6款 農林水産業費

予算現額679,255,000円に対し支出済額は235,003,692円で、執行率は34.6%である。

支出済額の主なものは、農林漁業資金償還補助金68,694,365円、農村地域活性化農道整備事業費14,400,000円、ため池等整備事業費1,125,000円、万力・上栗原・岩手地区畑地帯総合整備事業負担金21,075,000円、農地環境整備事業費3,150,000円などである。

地域別の認定農業者（※1参照）数及び認定農業者等への近代化資金及びスーパーL資金（※2参照）の平成23年中の融資額の平均残高は、次のとおりである。

（単位：人、円）

地区名	山梨地域	牧丘地域	三富地域	合計
認定農業者数	205	33	0	238
融資額平均残高	171,752,820	10,268,000	3,404,000	185,424,820

※1 認定農業者制度は、経営的に収益の向上を目指して、農業者自身が作成した農業経営計画を市が認定し、その計画の達成に向け認定農業者を支援していく制度

※2 スーパーL資金は、農業経営改善計画の認定を受けられた方の自主性と創意工夫を活かした経営改善を、資金面で応援する総合的な資金制度

### 監査の結果

農林商工課、管財課における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

農業従事者の担い手不足という深刻な状況の中ではあるが、今後は、環境にやさしく、省力で安全・安心を基本とするような、高付加価値農業の推進を検討されたい。また、引き続き、就農しやすい環境づくりにもなお一層取り組まれない。

地籍調査においては、三富地域に調査中の箇所があるが、早急に問題点等を解決し、調査完了することを要望する。

## 第7款 商工費

予算現額330,876,000円に対し支出済額は192,960,372円で、執行率は58.3%である。

支出済額の主なものは、商工業振興一般事業経費60,108,000円、笛吹の湯維持管理経費5,897,101円、道の駅運営管理経費11,446,031円、観光宣伝事業経費5,020,870円などである。

### 監査の結果

農林商工課、観光課における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

市民が悪徳商法や振り込め詐欺等の被害に遭わないよう、啓発活動を行うとともに関係機関とも連携し積極的な対応に努められたい。

## 第8款 土木費

予算現額2,159,076,000円に対し支出済額は217,289,600円で、執行率は10.1%である。

支出済額の主なものは、道路維持費12,193,151円、野背坂線改良費22,544,650円、道路建設改良費21,006,876円、市営住宅維持管理経費9,723,690円、駅前広場・駐車場管理経費6,867,506円、万力公園管理事業経費10,209,393円などである。

繰越事業では、山梨市駅前土地区画整理事業経費16,813,912円、野背坂線改良費63,114,810円の執行状況である。

### 監査の結果

建設課、都市計画課、下水道課における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

市民のライフラインである道路・河川整備、開発行為の許可等は、安心・安全なまちづくりを形成するうえで非常に重要な業務である。今後も安心・安全で快適な生活環境を確保し、地域の発展・活性化を図るため、地域に密着した整備等に努められたい。

東日本大震災の地震による被害の甚大さを見ると、木造住宅への耐震化が急務と考えられる。耐震化には費用の課題もあり理解を得難いところであるが、地震での被害を抑えるためにも、木造住宅耐震診断事業、木造住宅の耐震化促進事業の周知啓発を図られたい。

市営住宅として活用するために「雇用促進住宅小原東・小原東第2宿舎」を購入予定との事だが、住宅使用料の滞納が発生しないよう入居希望者・連帯保証人の審査等に留意されたい。

## 第9款 消防費

予算現額731,630,000円に対し支出済額は420,431,032円で、執行率は57.5%である。

支出済額の主なものは、東山梨消防組合負担金(常備消防負担金)372,588,246円、消防団員等福祉経費(退職報償掛金など)30,385,068円などである。

### 監査の結果

総務課(消防関係)における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

東日本大震災の発生以来、住民の防災に対する関心が高まっているので、大規模災害発生時において、行政が体制を整備するまでの間、自主防災組織が地域の安心・安全の確保を努めなければならぬので、その活動に必要な防災資機材の更新・整備をお願いしたい。

### ◆消防

平成23年9月30日現在の消防団の現有勢力の状況は、次のとおりである。

	加納岩	日下部	八幡	山梨	日川	後屋敷	岩手	牧丘	三富	本部	合計
ポンプ自動車(台)	5	4	4	5	0	1	1	5	1	-	26
小型動力ポンプ付積載車(台)	1	1	4	1	5	3	3	6	7	-	31
小型動力ポンプ(台)	5	4	10	2	5	3	3	11	8	-	51
貯水槽(基)	11	15	56	13	3	10	10	101	40	-	259
消火栓(基)	109	83	160	94	68	65	15	79	101	-	774
火の見やぐら(塔)	5	4	9	8	5	3	4	25	8	-	71
団員(人)	110	85	156	129	114	83	43	218	107	4	1,049

## 第10款 教育費

予算現額1,543,648,000円に対し支出済額は598,239,062円で、執行率は38.8%である。

支出済額の主なものは、小学校給食調理業務委託費35,867,475円、体育施設指定管理事業費16,275,015円、英語指導助手設置事業費11,233,109円、根津記念館事業経費6,337,052円などである。

### 監査の結果

教育委員会(学校教育課、生涯学習課、牧丘教育事務所、三富教育事務所)における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

なお、八幡小学校、岩手小学校、三富小学校、山梨北中学校、諏訪公民館、中牧公民館、西保公民館の監査も行なったが、適正に運営されているものと認められた。

### 検討・要望事項など

懸案事項として、少子化による小学校の統廃合を挙げられたが、保護者や地域住民にとっては重要な問題であるので、関係者の意見を聞きながら統廃合に対し理解を得られるよう、慎重に検討されたい。

小中学校においては、火災・地震等の災害時の対応については、各校とも計画書に基づき避難訓練等を実施していると思うが、東日本大震災の発生時には多くの児童が犠牲になったので、再度、災害時の避難計画等の点検または、見直しを要望する。

公民館においては、各館それぞれに地域的な課題があるが、地域コミュニティづくりのため様々な自主事業に取り組まれていることを高く評価するところである。今後も課題の解消、また、公民館が地域の拠点としての機能を果たすことに期待する。

### ◆幼稚園

平成23年10月1日現在の園児数の状況は、次のとおりである。(単位：人)

	3歳児	4歳児	5歳児	合計
つつじ幼稚園	33	25	32	90

### ◆小学校

平成23年10月1日現在の学校別児童数の状況は、次のとおりである。(単位：人)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
加納岩小学校	68	53	76	62	81	58	398
日下部小学校	70	77	65	67	79	62	420
後屋敷小学校	38	39	40	36	55	60	268
日川小学校	42	32	34	41	42	45	236
山梨小学校	46	49	50	44	31	35	255
八幡小学校	19	20	31	28	31	21	150
岩手小学校	7	9	8	11	9	8	52
牧丘第一小学校	15	24	22	36	21	16	134
牧丘第二小学校	6	8	6	5	15	11	51
牧丘第三小学校	0	7	6	5	6	5	29
三富小学校	7	10	7	8	8	19	59
合計	318	328	345	343	378	340	2,052

## ◆中学校

平成23年10月1日現在の学校別生徒数の状況は、次のとおりである。（単位：人）

	1年	2年	3年	合計
山梨南中学校	158	173	149	480
山梨北中学校	165	171	175	511
笛川中学校	50	54	41	145
合計	373	398	365	1,136

### 第11款 災害復旧費

予算現額2,000,000円に対し支出済額は422,100円で、執行率は21.1%である。

#### 監査の結果

災害復旧費に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

#### 検討・要望事項など

特になし。

### 第12款 公債費

予算現額2,433,339,000円に対し支出済額は1,234,390,766円で、執行率は50.7%である。

#### 監査の結果

公債費に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

#### 検討・要望事項など

特になし。

### 第13款 諸支出金

予算現額1,221,000円に対し支出済額は142,318円で、執行率は11.7%である。

#### 監査の結果

諸支出金に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

#### 検討・要望事項など

特になし。

### 第14款 予備費

予算現額17,466,314円に対し支出済額は0円で、執行率は0.0%である。

#### 監査の結果

9月30日現在での歳出はなかった。

#### 検討・要望事項など

特になし。

## (2) 国民健康保険特別会計

### ◆歳入

平成23年9月30日現在の歳入の款別収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入率
1 国民健康保険税	1,039,076,000	1,393,850,318	302,187,350	29.1
2 材料及び手数料	301,000	300,000	198,700	66.0
3 国庫支出金	1,223,831,000	521,822,498	458,218,498	37.4
4 療養給付費等交付金	113,274,000	72,180,114	56,874,000	50.2
5 前期高齢者交付金	900,105,000	401,303,740	401,303,740	44.6
6 県支出金	250,077,000	0	0	0.0
7 共同事業交付金	561,113,000	208,633,664	208,633,664	37.2
8 財産収入	1,000	17,344	17,344	1,734.4
9 繰入金	328,959,000	0	0	0.0
10 繰越金	1,000	0	0	0.0
11 諸収入	5,763,000	3,389,216	3,454,473	59.9
歳入合計	4,422,501,000	2,601,496,894	1,430,887,769	32.4

予算現額4,422,501,000円に対し収入済額は1,430,887,769円で、収入率は32.4%である。

収入済額の主なものは、国民健康保険税、国庫支出金、療養給付費等交付金、前期高齢者交付金、共同事業交付金、諸収入である。

### ◆歳出

平成23年9月30日現在の歳出の款別執行状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	支出済額	執行率
1 総務費	72,297,000	38,626,476	53.4
2 保険給付費	2,871,360,000	1,248,026,342	43.5
3 後期高齢者支援金等	532,553,000	215,916,459	40.5
4 前期高齢者納付金等	1,298,000	684,811	52.8
5 老人保健拠出金	11,000	0	0.0
6 介護納付金	243,000,000	101,716,550	41.9
7 共同事業拠出金	534,633,000	227,294,075	42.5
8 保健事業費	68,549,000	11,620,331	17.0
9 基金積立金	1,000	0	0.0
10 公債費	18,598,000	0	0.0
11 諸支出金	50,201,000	3,146,700	6.3
12 予備費	30,000,000	0	0.0
歳出合計	4,422,501,000	1,847,031,744	41.8

予算現額4,422,501,000円に対し支出済額は1,847,031,744円で、執行率は41.8%である。

支出済額の主なものは、保険給付費、後期高齢者支援金等、共同事業拠出金である。

## 監査の結果

国民健康保険特別会計における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

## 検討・要望事項など

今後も財源の確保と税負担の公平を期するための税収納対策の強化、保健事業による訪問指導及びレセプト点検などによる医療費の適正化対策に引き続き努められたい。

### (3) 後期高齢者医療特別会計

#### ◆歳入

平成23年9月30日現在の歳入の款別収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入率
1 後期高齢者医療保険料	240,486,000	163,293,470	117,834,070	49.0
2 材料及び手数料	11,000	0	39,600	360.0
3 繰入金	96,923,000	0	0	0.0
4 繰越金	1,000	0	0	0.0
5 諸収入	1,049,000	0	29,200	2.8
歳入合計	338,470,000	163,293,470	117,902,870	34.8

予算現額338,470,000円に対し収入済額は117,902,870円で、収入率は34.8%である。  
収入済額の主なものは、後期高齢者医療保険料である。

#### ◆歳出

平成23年9月30日現在の歳出の款別執行状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	支出済額	執行率
1 総務費	8,495,000	3,097,977	36.5
2 後期高齢者医療広域連合納付金	329,274,000	118,600,000	36.0
3 諸支出金	601,000	207,610	34.5
4 予備費	100,000	0	0.0
歳出合計	338,470,000	121,905,587	36.0

予算現額338,470,000円に対し支出済額は121,905,587円で、執行率は36.0%である。  
支出済額の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金である。

#### 監査の結果

後期高齢者医療特別会計における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

#### 検討・要望事項など

後期高齢者医療制度については、現制度の廃止が検討されているので、今後、動向を見極め、市民が制度に対して不安が生じないよう対応等に努められたい。保険料の収納に関しては、高い収納率となっているが、負担の公平性及び歳入確保の見地から、引き続き未収納者対策に努められたい。

#### (4) 交通・火災災害共済事業特別会計

##### ◆歳入

平成23年9月30日現在の歳入の款別収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入率
1 共済会費収入	13,941,000	13,730,000	13,730,000	98.5
2 繰入金	4,341,000	0	0	0.0
3 諸収入	100,000	4,218	4,218	4.2
歳入合計	18,382,000	13,734,218	13,734,218	74.7

予算現額18,382,000円に対し収入済額は13,734,218円で、収入率は74.7%である。  
収入済額の主なものは、共済会費収入である。

##### ◆歳出

平成23年9月30日現在の歳出の款別執行状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	支出済額	執行率
1 共済事業費	18,082,000	4,035,860	22.3
2 基金積立金	100,000	4,218	4.2
3 予備費	200,000	0	0.0
歳出合計	18,382,000	4,040,078	22.0

予算現額18,382,000円に対し支出済額は4,040,078円で、執行率は22.0%である。  
支出済額の主なものは、共済事業費(共済見舞金など)である。

##### 監査の結果

交通・火災災害共済事業特別会計における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

##### 検討・要望事項など

年々加入者の減少に歯止めがかからず苦慮されているところだが、引きつづき、根強く、市民への周知・広報活動を図り、まずは加入者離れの食い止めに努められたい。

## (5) 下水道事業特別会計

### ◆歳入

平成23年9月30日現在の歳入の款別収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入率
1 分担金及び負担金	25,289,000	44,732,840	25,787,880	102.0
2 使用料及び手数料	190,359,000	80,715,971	65,611,290	34.5
3 国庫支出金	15,000,000	0	0	0.0
4 繰入金	791,063,000	0	0	0.0
5 繰越金	1,000	0	0	0.0
6 諸収入	3,303,000	0	0	0.0
7 市債	433,900,000	0	0	0.0
歳入合計	1,458,915,000	125,448,811	91,399,170	6.3

予算現額1,458,915,000円に対し収入済額は91,399,170円で、収入率は6.3%である。  
収入済額の主なものは、分担金及び負担金、使用料及び手数料である。

### ◆歳出

平成23年9月30日現在の歳出の款別執行状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	支出済額	執行率
1 総務費	232,777,000	60,491,299	26.0
2 事業費	438,813,000	71,552,990	16.3
3 公債費	787,025,000	392,685,055	49.9
4 予備費	300,000	0	0.0
歳出合計	1,458,915,000	524,729,344	36.0

予算現額1,458,915,000円に対し支出済額は524,729,344円で、執行率は36.0%である。  
支出済額の主なものは、人件費などの総務費、工事費である事業費、公債費である。

### 監査の結果

下水道事業特別会計における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

下水道は循環型社会の構築に欠かせない社会資本であるので、平成24年4月から実施する「山梨市下水道事業経営計画」に基づいた建設整備等をお願いしつつ、今後も供用区域内の水洗化率の向上に努められたい。また、平成24年4月から下水道料金が改定されるが、利用者に対し周知・広報の徹底をし、混乱のないようお願いしたい。

## (6) 浄化槽事業特別会計

### ◆歳入

平成23年9月30日現在の歳入の款別収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入率
1 分担金及び負担金	1,310,000	263,000	0	0.0
2 使用料及び手数料	16,491,000	7,661,965	6,273,898	38.0
3 国庫支出金	5,000,000	0	0	0.0
4 繰入金	46,648,000	0	0	0.0
5 繰越金	1,000	0	0	0.0
6 諸収入	331,000	0	0	0.0
7 市債	8,000,000	0	0	0.0
歳入合計	77,781,000	7,924,965	6,273,898	8.1

予算現額77,781,000円に対し収入済額は6,273,898円で、収入率は8.1%である。  
収入済額の主なものは、使用料及び手数料である。

### ◆歳出

平成23年9月30日現在の歳出の款別執行状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	支出済額	執行率
1 総務費	20,713,000	2,871,166	13.9
2 事業費	34,635,000	8,086,978	23.3
3 公債費	22,233,000	11,107,700	50.0
4 予備費	200,000	0	0.0
歳出合計	77,781,000	22,065,844	28.4

予算現額77,781,000円に対し支出済額は22,065,844円で、執行率は28.4%である。  
支出済額の主なものは、人件費などの総務費、工事費である事業費、公債費である。

### 監査の結果

浄化槽事業特別会計における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

浄化槽事業については、生活排水による水質汚濁を防止するため、適正な維持管理や単独浄化槽からの転換の推進を図るとともに、合併処理浄化槽設置の効果の周知・広報に努められたい。

## (7) 介護保険特別会計

### ◆歳入

平成23年9月30日現在の歳入の款別収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入率
1 保険料	459,447,000	251,231,570	223,357,100	48.6
2 分担金及び負担金	1,460,000	631,650	462,900	31.7
3 使用料及び手数料	80,000	0	19,300	24.1
4 国庫支出金	790,616,000	322,329,000	322,329,000	40.8
5 支払基金交付金	910,962,000	350,842,000	350,842,000	38.5
6 県支出金	643,217,000	197,242,000	197,242,000	30.7
7 財産収入	50,000	19,560	19,560	39.1
8 繰入金	585,941,000	0	0	0.0
9 繰越金	3,514,000	5,331,011	5,331,011	151.7
10 諸収入	7,000	0	0	0.0
歳入合計	3,395,294,000	1,127,626,791	1,099,602,871	32.4

予算現額3,395,294,000円に対し収入済額は1,099,602,871円で、収入率は32.4%である。  
収入済額の主なものは、保険料、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金である。

### ◆歳出

平成23年9月30日現在の歳出の款別執行状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	支出済額	執行率
1 総務費	309,034,000	61,733,128	20.0
2 保険給付費	3,025,611,000	1,113,319,584	36.8
3 地域支援事業費	55,683,000	20,481,366	36.8
4 基金積立金	51,000	19,560	38.4
5 諸支出金	4,415,000	2,524,868	57.2
6 予備費	500,000	0	0.0
歳出合計	3,395,294,000	1,198,078,506	35.3

予算現額3,395,294,000円に対し支出済額は1,198,078,506円で、執行率は35.3%である。  
支出済額の主なものは、人件費などの総務費、保険給付費、地域支援事業費である。

### 監査の結果

介護保険特別会計における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

介護保険料の収入未済額については、介護保険担当職員により訪問徴収を行うなどの努力が見られるが、収入未済額は年々増え、多額の不納欠損処分を行っている状況をみると、十分とは言えない。引き続き、関係各課と連携・情報交換を図りながら、適正な徴収対策に努められたい。

## (8) 居宅介護予防支援事業特別会計

### ◆歳入

平成23年9月30日現在の歳入の款別収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入率
1 サービス収入	6,962,000	3,252,320	3,252,320	46.7
2 繰入金	9,462,000	0	0	0.0
歳入合計	16,424,000	3,252,320	3,252,320	19.8

予算現額16,424,000円に対し収入済額は3,252,320円で、収入率は19.8%である。  
収入済額の主なものは、サービス収入である。

### ◆歳出

平成23年9月30日現在の歳出の款別執行状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	支出済額	執行率
1 総務費	11,430,000	4,970,585	43.5
2 事業費	4,944,000	2,018,920	40.8
3 予備費	50,000	0	0.0
歳出合計	16,424,000	6,989,505	42.6

予算現額16,424,000円に対し支出済額は6,989,505円で、執行率は42.6%である。  
支出済額の主なものは、人件費などの総務費、居宅サービスなどの事業費である。

### 監査の結果

居宅介護予防支援事業特別会計における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

今後も利用者の状態にあったケアプランを作成し、希望に添ったサービスが提供されるよう事業者との調整に努められたい。

## (9) 簡易水道事業特別会計

### ◆歳入

平成23年9月30日現在の歳入の款別収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入率
1 分担金及び負担金	12,353,000	168,000	168,000	1.4
2 使用料及び手数料	74,862,000	31,265,295	27,186,714	36.3
3 国庫支出金	73,999,000	0	0	0.0
4 寄附金	7,000	0	0	0.0
5 繰入金	317,560,000	0	0	0.0
6 繰越金	1,000	0	0	0.0
7 諸収入	1,000	0	5,082	508.2
8 市債	81,500,000	0	0	0.0
歳入合計	560,283,000	31,433,295	27,359,796	4.9

予算現額560,283,000円に対し収入済額は27,359,796円で、収入率は4.9%である。

収入済額の主なものは、使用料及び手数料である。

### ◆歳出

平成23年9月30日現在の歳出の款別執行状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	支出済額	執行率
1 総務費	160,731,000	70,337,271	43.8
2 施設整備費	254,432,000	72,850,000	28.6
3 公債費	144,620,000	71,872,048	49.7
4 予備費	500,000	0	0.0
歳出合計	560,283,000	215,059,319	38.4

予算現額560,283,000円に対し支出済額は215,059,319円で、執行率は38.4%である。

支出済額の主なものは、人件費などの総務費、施設整備費、公債費である。

### 監査の結果

簡易水道事業特別会計における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

水質検査においては、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う水道水への放射能汚染が心配されているが、市民に水道水の安全性を確保するためにも、これまで以上に万全な検査体制で臨まれるよう要望する。

## (10) 活性化事業特別会計

### ◆歳入

平成23年9月30日現在の歳入の款別収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入率
1 使用料及び手数料	48,465,000	23,716,879	23,112,888	47.7
2 繰入金	28,900,000	0	0	0.0
3 諸収入	14,948,000	6,612,230	6,541,650	43.8
歳入合計	92,313,000	30,329,109	29,654,538	32.1

予算現額92,313,000円に対し収入済額は29,654,538円で、収入率は32.1%である。

収入済額の中で使用料及び手数料23,112,888円の内訳は、花かげの湯13,112,765円、鼓川温泉10,000,123円であった。諸収入は、両施設の売店売上である。

### ◆歳出

平成23年9月30日現在の歳出の款別執行状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

款	予算現額	支出済額	執行率
1 総務費	92,112,000	35,428,010	38.5
2 公債費	1,000	0	0.0
3 予備費	200,000	0	0.0
歳出合計	92,313,000	35,428,010	38.4

予算現額92,313,000円に対し支出済額は35,428,010円で、執行率は38.4%である。

支出済額の総務費の内訳は、花かげの湯管理費15,590,412円、鼓川温泉管理費12,526,499円などである。

### 監査の結果

活性化事業特別会計における財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

### 検討・要望事項など

施設使用料収入は昨年同時期に比べ780,936円の減収となった。内訳は花かげの湯が604,500円、鼓川温泉176,436円の減である。また、一般会計からの繰入予算額は28,900,000円を予定し、昨年度に比べ525,000円の増額を見込むなど、運営は年々厳しさを増している。特に鼓川温泉の利用者数の減少が著しいので、施設の存在・魅力などを広くアピールするため、新発想のサービスの導入を図りたい。また、集客力アップのため、年間・月間目標（例えば、4月は女性客を10%増など）を設けて、目標の確実な実行に取り組まれない。

## (11) 水道事業会計

◎ 平成23年9月30日現在の収益的収入・支出の状況は、次のとおりである。

### ◆収益的収入

(単位：円、%、金額は税込)

款 項	予算現額	収入済額	収入率
水道事業収益	662,792,000	285,912,455	43.1
営業収益	583,479,000	285,703,439	49.0
営業外収益	79,313,000	209,016	0.3

予算現額662,792,000円に対し収入済額は285,912,455円で、収入率は43.1%である。

営業収益の内訳は、給水収益(水道使用料)282,763,263円、手数料などのその他の営業収益2,675,176円などである。

営業外収益は、受取利息、配当金及び消費税還付金である。

### ◆収益的支出

(単位：円、%、金額は税込)

款 項	予算現額	支出済額	執行率
水道事業費用	648,684,000	213,809,467	33.0
営業費用	593,062,000	189,615,142	32.0
営業外費用	54,166,000	24,135,624	44.6
予備費	1,000,000	0	0.0
特別損失	456,000	58,701	12.9

予算現額648,684,000円に対し支出済額は213,809,467円で、執行率は33.0%である。

営業費用の内訳は、原水及び給水費(人件費・動力費など)70,332,162円、受水費89,258,400円、受託工事費(人件費・消耗品費など)5,034,657円、総係費(人件費・委託料など)24,989,923円などである。

営業外費用は企業債利息24,135,624円、特別損失は過年度損益修正損58,701円である。

◎ 平成23年9月30日現在の資本的収入・支出の状況は、次のとおりである。

### ◆資本的収入

(単位：円、%、金額は税込)

款 項	予算現額	収入済額	収入率
資本的収入	151,148,000	4,522,500	3.0
企業債	80,000,000	0	0.0
負担金	13,755,000	3,738,000	27.2
国庫補助金	32,833,000	0	0.0
補償工事負担金	24,560,000	784,500	3.2

予算現額151,148,000円に対し収入済額は4,522,500円で、収入率は3.0%である。

収入済額は、加入負担金3,738,000円、補償工事負担金784,500円である。

### ◆資本的支出

(単位：円、%、金額は税込)

款 項	予算現額	支出済額	執行率
資本的支出	384,225,000	69,829,094	18.2
建設改良費	317,056,000	36,455,700	11.5
企業債償還金	67,169,000	33,373,394	49.7

予算現額384,225,000円に対し支出済額は69,829,094円で、執行率は18.2%である。

建設改良費の内訳は、配水管布設工事費等の営業設備費16,125,700円、簡易水道統合整備費20,330,000円である。

## 監査の結果

水道事業会計に係る財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

## 検討・要望事項など

安全で安心して飲める水の安定供給、水道施設（石綿管・老朽管）の敷設替えについては、引き続き、積極的に取り組まれない。また、来年度から市税がコンビニ収納を導入するので、水道料金の使用料も市民サービス・収納率向上のためにも早期の導入を要望する。

## (12) 病院事業会計

◎ 平成23年9月30日現在の収益的収入・支出の状況は、次のとおりである。

### ◆収益的収入

(単位：円、%、金額は税込)

款 項	予算現額	収入済額	収入率
病 院 事 業 収 益	3,921,000	3,921,000	100.0
医 業 外 収 益	3,921,000	3,921,000	100.0

予算現額3,921,000円に対し収入済額は円3,921,000で、収入率は100.0%である。  
医業外収益は一般会計からの補助金及び繰越金、預金利子である。

### ◆収益的支出

(単位：円、%、金額は税込)

款 項	予算現額	支出済額	執行率
病 院 事 業 費 用	4,001,000	3,903,072	97.6
医 業 費 用	3,783,000	3,783,000	100.0
医 業 外 費 用	218,000	120,072	55.1

予算現額4,001,000円に対し支出済額は3,903,072円で、執行率は97.6%である。  
医業費用は減価償却費であり、建物・機械備品に係る減価償却である。  
医業外費用は企業債支払利息である。

◎ 平成23年9月30日現在の資本的収入・支出の状況は、次のとおりである。

### ◆資本的収入

(単位：円、%、金額は税込)

款 項	予算現額	収入済額	収入率
資 本 的 収 入	8,142,000	2,642,000	32.4
他 会 計 負 担 金	5,642,000	2,642,000	46.8
起 業 債	2,500,000	0	0.0

予算現額8,142,000円に対し収入済額は2,642,000円で、収入率は32.4%である。  
一般会計負担金は企業債元金償還分であり、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3,703,000円は、当年度分損益勘定留保資金で補てんされている。

### ◆資本的支出

(単位：円、%、金額は税込)

款 項	予算現額	支出済額	執行率
資 本 的 支 出	11,845,000	3,161,042	26.7
企 業 債 償 還 金	6,345,000	3,161,042	49.8
建 設 改 良 費	5,500,000	0	0.0

予算現額11,845,000円に対し支出済額は3,161,042円で、執行率は26.7%である。  
企業債償還金は企業債元金償還金である。

## 監査の結果

病院事業会計に係る財務に関する事務処理は、適正に行なわれているものと認められた。

## 検討・要望事項など

病院運営（山梨市立牧丘病院）は平成18年4月より指定管理者として、財団法人山梨厚生会が運営しているので、当会計の主な業務は、既借入債の償還業務等である。

引き続き、山梨厚生会と連携し、地域医療の拠点として充実した医療が提供できるよう取り組まれない。

# 【財政援助団体等に関する監査】

## ＜財政援助団体＞

### 1 監査の概要

#### (1) 監査の種類

地方自治法第199条第7項に基づく監査

#### (2) 監査の対象

実施日	団体名
平成23年11月29日	社会福祉法人 山梨市社会福祉協議会

#### (3) 監査の範囲

財政援助に係る出納事務及び関連する事務、業務全般（指定管理者に係る事務を含む）について実施した。

#### (4) 監査の着眼点

- 事業計画と予算書及び決算関係書類が、所管課へ提出した当該事業に係る補助金交付申請書、実績報告書と符合するか。
- 補助金交付申請書の提出、補助金等の請求及び受領は、適時に行なわれているか。
- 事業は、計画書及び交付条件に従って実施され、十分な成果が上がっているか。また、補助金が対象事業以外に流用されていないか。
- 出納関係帳簿の整備、記録は適正に行なわれているか。また、領収書等の証拠書類が適切に整理、保存されているか。

#### (5) 監査対象団体の概要

##### ①事業目的

山梨市における社会福祉事業、その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発展及び活性化により、地域福祉の増進を図ることを目的とする。

##### ②事業内容

- (1) 法人経営
- (2) 地域福祉活動の推進（地域福祉活動事業、ふれあいのまちづくり事業、ボランティア市民活動センター事業、共同募金・歳末たすけあい事業、老人健康福祉センター指定管理事業、児童センター指定管理事業、放課後児童健全育成(学童クラブ)運営受託事業)
- (3) 福祉サービスの利用支援（日常生活自立支援事業、障害者等相談支援事業、生活福祉資金・高齢者居室整備資金・社会福祉金庫貸付事業）
- (4) 在宅福祉サービスの提供（介護保険サービス事業、高齢者地域支援事業、障害者福祉サービス事業、障害者等地域活動支援センター事業）
- (5) 各種団体事務局（民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、共同募金会山梨市支会など）の運営と事業の推進

##### ③補助金等の状況

平成22年度の決算状況は、収入が予算額361,056,000円に対し決算額は360,535,113円（収入率99.9%）、支出が予算額361,056,000円に対し決算額は345,076,780円（執行率95.6%）となっており、収支の差額は15,458,333円であった。

収入決算額360,535,113円に占める市補助金は、41,735,500円（11.6%）である。

主なものは、職員設置補助金21,124,000円、福祉活動専門員補助金5,372,000円、ボランティア活動育成費補助金7,837,000円などである。

公共施設の指定管理者としての管理料収入は、老人健康福祉センター32,172,000円、児童センター12,314,750円で、収入に占める比率は12.3%である。

市からの受託事業の受託金収入は、77,006,100円（21.4%）である。

主なものは、学童クラブ運営事業受託金34,336,771円、地域活動支援センター事業受託金9,682,396円、高齢者生きがい活動支援通所事業受託金7,987,677円などである。

## 2 監査の結果

補助金・受託金に係る事業は、目的に沿って実施されており、補助金・受託金に係る出納事務処理も適正に行なわれていると認められた。

また、指定管理者として施設運営を行なっている老人健康福祉センター、児童センター、デイサービスセンターについても適正に運営しているものと認められた。

厳しい財政状況の中、年々、純資産残高が増加しているのは、経営努力によって効率的、効果的な財政運営を行った結果と見られる。今後も、経営の安定化を図り、地域の実情に即した福祉サービスの向上に努められたい。

## <出資団体>

### 1 監査の概要

#### (1) 監査の種類

地方自治法第199条第7項に基づく監査

#### (2) 監査の対象

実施日	団体名
平成24年 1月25日	株式会社グリル・パイナリー
	山梨市フルーツパーク株式会社
平成24年 1月26日	有限会社みとみ

#### (3) 監査の範囲

出資金等に係る出納事務及び関連する事務、業務全般（指定管理者に係る事務を含む）について実施した。

#### (4) 監査の着眼点

- 経営成績及び財政状況
- 収益率及び財務比率。また、人件費の内容及び金額が事業規模に比し適当か否か。
- 出納関係帳簿の整備、記録は適正に行なわれているか。また、領収書等の証拠書類が適切に整理、保存されているか。
- 会計経理及び財産管理は適切に行なわれているか。
- 資金運用が適切に行なわれているか。また、経費節減に取り組んでいるか。

#### (5) 監査対象団体の概要

##### 1. 有限会社みとみ

##### ①事業目的

山梨市三富交流促進センター(道の駅みとみ)で、次の業務を行なっている。

- (1) 山梨市三富交流促進センター(道の駅みとみ)、山梨市及び山梨市が関係する団体所有の公共施設などの管理運営業務
- (2) 国及び県所有の道路施設などの管理運営業務
- (3) 飲食店の経営
- (4) 温泉浴場施設及び旅館の経営、管理
- (5) 工芸品、民芸品及び農林畜産物などの物産品の製造・販売・宅配・展示・研究開発、販売・技術指導
- (6) 駐車場、スポーツ施設、遊戯施設、博物館・美術館等文化教育施設の管理運営
- (7) 煙草、郵便切手、医薬品、医薬部外品、食料品、清涼飲料水、衣料品、新聞、書籍、米穀、玩具、日用雑貨品及び土産品の販売
- (8) 酒類の製造販売
- (9) 観光情報の提供、観光案内並びに各種イベントの企画、実施及び後援
- (10) 旅行業
- (11) コンビニエンスストアの経営

- (12)労働者派遣事業
- (13)不動産の売買、賃貸、仲介、管理業
- (14)土木建築工事業
- (15)自動車の修理業務
- (16)ガソリンスタンドの経営
- (17)レンタカー業
- (18)一般乗合旅客自動車運送業及びタクシー営業
- (19)通信提供サービス
- (20)生命保険の募集に関する業務
- (21)損害保険代理業
- (22)産業廃棄物処理業
- (23)古物の売買業
- (24)前各号に附帯関連する一切の業務

## ②出資金等の状況

資本金3,000,000円の全額が、山梨市の出資額である。

## ③経営状況

第10期(平成22年3月1日～平成23年2月28日)の決算報告書における経営状況は、次のとおりである。

営業損益については、売上高140,095,454円である。内訳は売店売上109,994千円、軽食売上14,319千円、釣り場売上12,432千円、自動販売機売上3,350千円である。売上原価は85,869,532円(商品材料仕入れ費用など)であり、販売費及び一般管理費は70,540,208円で16,314,286円の営業損失であった。しかしながら、営業外収益13,930,553円(道の駅ほか指定管理料、受取利息)があったため、経常損失は2,479,339円となった。

なお、法人税等充当額を加算した当期損失は2,549,339円となり、当期末の繰越損失額は11,895,823円である。

## 2. 株式会社グリル・パイナリー

### ①事業目的・事業内容

山梨市民会館内で、次の業務を行なっている。

- (1)レストランの業務
- (2)結婚式場の設営及び各種料理の提供とそれに伴うサービス業務
- (3)上記の業務に付帯する一切の業務

### ②出資金等の状況

資本金10,000,000円のうち、山梨市の出資額は6,000,000円(60.0%)である。

### ③経営状況

第34期(平成22年7月1日～平成23年6月30日)の決算報告書における経営状況は、次のとおりである。

営業損益については、売上高28,980,519円である。内訳はレストラン売上10,971,228円、掛入金18,009,291円である。売上原価は17,031,869円(材料仕入れ費用、期首棚卸高など)であり、販売経費及び一般管理費は18,914,012円で1,166,262円の営業損失であった。また、営業外収益(利息・雑収入など)は62,293円であり、支払利息などの

営業外費用が547,977円であったため、最終的には1,651,946円の経常損失が生じた。  
なお、当期末の繰越損失額は16,311,073円となっている。

### 3. 山梨市フルーツパーク株式会社

#### ①事業目的

山梨市総合営農指導拠点施設フルーツセンターの管理運営を市から受託し、山梨市や県内の特産品を広く紹介するための展示販売施設である物産館、果実・野菜等を生産者が直接消費者に宣伝・販売を行なう交流の場であるファーマーズマーケット、足湯、日帰り温泉施設「赤松の湯ぷくぷく」を設置して、農業振興と合わせて観光振興を推進している。

#### ②事業内容

- (1) 特産品の販売
- (2) 特産品の販売・宣伝を目的とする万葉うたまつり、秩父はんじょう博などの各種イベントへの参加
- (3) ロードトレインの運行
- (4) 足湯の運営
- (5) 日帰り温泉施設「赤松の湯ぷくぷく」を株式会社日食へ賃貸借し運営
- (6) 山梨市農地いきいき特区内での農業経営

#### ③出資金等の状況

資本金33,500,000円のうち、山梨市の出資額は24,000,000円(71.6%)である。

日帰り温泉施設「赤松の湯ぷくぷく」の建設資金としての借入金に対し、300,000,000円を限度として山梨市が債務保証を行なっている。

#### ④経営状況

第20期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の決算報告書における経営状況は、次のとおりである。

営業損益については、売上高371,395,109円である。内訳は、売店等売上120,227,590円、賃貸借料収入20,510,640円、管理受託収入221,071,432円である。なお、売店等売上の主なものは、売店売上109,470,810円、ロードトレイン売上5,715,742円、売店外収入2,666,458円である。この金額から、売上原価67,163,493円(主なものは商品の仕入れ費用)、販売費・一般管理費278,186,431円を引いた26,045,185円が営業利益である。

営業利益に受取利息などの営業外収益44,820円を加え、この金額から支払利息など営業外費用773,707円を引いた25,316,298円が経常利益である。これに特別利益である補助金1,837,210円を加え、法人税等充当額10,163,700円を引いた16,989,808円が当期純利益であった。

前期繰越利益33,360,228円から当期純利益16,989,808円を足した50,350,036円が当期の繰越利益剰余金となっている。

なお、「赤松の湯ぷくぷく」に関する実質長期借入金残高は、146,000,000円となっている。

## 2 監査の結果

市の出資団体に係る事務事業は、各団体の設立目的に沿って運営されており、適正に処理されているものと認められた。

有限会社みとみについては、指摘事項等が多々あるが、まずは、経営体制を改革するためにも早急な組織の再構築を強く要望する。

株式会社グリル・パイナリーについては、施設に利用制限があるため、限られた時間での営業で苦慮されているところだが、限られた時間の中で最大限の営業効率を追求して、利益の増に繋がるよう努められたい。

山梨市フルーツパーク株式会社については、東日本大震災の影響、来客者（リピーター）の減少の中、利益を出していただいている。今後も、債務の返済を確実に履行し、事業計画の達成のため着実な実行と経営に努められたい。

## < 指定管理者 >

### 1 監査の概要

#### (1) 監査の種類

地方自治法第199条第7項に基づく監査

#### (2) 監査の対象

実施日	施設名	団体名
平成24年1月24日	山梨市民総合体育館 屋内温水プール 牧丘B&G海洋センター	株式会社フィッツ
平成24年1月25日	山梨市立牧丘病院	財団法人山梨厚生会
平成24年1月26日	山梨市三富デイサービスセンター	有限会社ハピネスフレンド
	夢わーく山梨	山梨市商工会

#### (3) 監査の範囲

指定管理業務全般について実施した。

#### (4) 監査の着眼点

- 施設は関係法令の定めるところにより適切に管理されているか。
- 協定等に基づく義務の履行は適切に行なわれているか。

#### (5) 監査対象団体の概要

##### 1. 財団法人 山梨厚生会

##### ①指定期間

平成23年4月1日～平成27年3月31日までの5年間

##### ②指定管理業務

指定管理業務は、次の業務を行なっている。

- (1) 病院における診療及び検診に関する業務
- (2) 病院に係る使用料及び手数料に関する業務
- (3) 病院の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (4) 上記の業務に掲げるもののほか、市長が定める業務

##### ③運営状況

指定管理者となった財団法人山梨厚生会は、公共団体からの運営受託経験も豊富であり、山梨厚生病院との事務の連携もあることから、指定管理者となった1年目から大幅な収支の改善が見られた。

平成22年度は、収入総額426,335,947円に対し支出総額429,838,059円で3,502,112円の赤字であった。これは、今まで牧丘病院の法定福利費（社会保険料・労働保険料）を山梨厚生会本部会計へ計上していたものを、今期から牧丘病院の会計へ計上したためである。

## 2. 株式会社フィッツ

### ①指定期間

平成21年4月1日～平成24年3月31日までの3年間

### ②指定管理業務

指定管理業務は、次の業務を行なっている。

- (1)管理施設の利用の許可に関する業務
- (2)管理施設の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (2)管理施設等の利用に係る使用料の徴収に関する業務
- (3)管理施設を設置する趣旨に沿った事業に関する業務
- (4)上記の業務に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

### ③運営状況

指定管理者となった株式会社フィッツは、公共団体からの運営受託経験も豊富であり、指定管理者となった1年目から収支の改善が見られた。

平成22年度は、収入総額83,773,874円に対し支出総額81,900,135円で1,873,739円の黒字であった。

## 3. 有限会社ハピネスフレンド

### ①指定期間

平成22年4月1日～平成27年3月31日までの5年間

### ②指定管理業務

指定管理業務は、次の業務を行なっている。

- (1)生活指導に関すること
- (2)日常生活動作訓練に関すること
- (3)養護に関すること
- (4)健康チェックに関すること
- (5)送迎サービスに関すること
- (6)入浴サービスに関すること
- (7)給食サービスに関すること
- (8)上記に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な業務

### ③運営状況

指定管理者となった有限会社ハピネスフレンドは、平成9年度からデイサービスの一部業務を受託、平成14年度からは全運営を受託し、長期にわたり豊富な経験がある。

平成22年度は、収入総額30,490,640円に対し支出総額30,498,207円で7,567円の赤字であった。

## 4. 山梨市商工会

### ①指定期間

平成22年4月1日～平成25年3月31日までの3年間

### ②指定管理業務

指定管理業務は、次の業務を行なっている。

- (1)管理施設の利用の許可に関する業務

- (2)管理施設の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (2)管理施設等の利用に係る使用料の徴収に関する業務
- (3)管理施設を設置する趣旨に沿った事業に関する業務
- (4)上記の業務に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

### ③運営状況

指定管理者となった山梨市商工会は、会員数806名の組織で、地域の経済の活性化に貢献するとともに、併せて社会一般の福祉の増進に資することを基本理念としている。

指定管理者となった平成22年度は、収入総額15,576,328円に対し支出総額14,707,277円で869,051円の黒字であった。

## 2 監査の結果

協定書に基づく指定管理業務は、適正に行なわれているものと認められた。

(財)山梨厚生会については、全国的に医師確保が困難な状況の中、平成22年度は、常勤医師を1名増員して4名体制とし、在宅医療などの地域医療に特化した医業経営に努めている。

病床利用率74.3%、一日平均入患者数22.3人などは、いずれも平成22年度を若干下回る状況であったが、平均在院日数22.0日を18.8日と短縮したことは、大いに評価するところである。

今後も基本理念である「地域の皆様に親しまれ、信頼され、必要とされる病院」の実現のため、職員が一丸となり設定した目標の達成に努められたい。

(株)フィッツについては、平成21年4月から指定管理を受け運営に努めているが、本年度が指定管理業務の最終年度である。平成24年度からも引き続き5年間、指定管理者として業務を運営することとなっているが、今後も利用者の増加、増収を図り、市民の健康増進等が図られる運営に努められたい。

(有)ハピネスフレンドについては、今までと同様に関係法令を十分理解し、経営管理の向上やサービスの向上を図り、関係機関等と連携し常に利用者の立場に立った運営に努められたい。

山梨市商工会については、施設の稼働率を上げるために、会員による利用、市民への周知・広報活動に努められたい。